

| | |
|------------|---|
| 事業名 | ～病気の早期発見で命と健康を守るために～ 「肺がん検診」と「HIV・梅毒検査」の取組を強化します |
|------------|---|

| | | | |
|----------------|--|------------|---|
| ここがポイント | ◆肺がん検診において、AI画像読影システムを試行的に導入します。 ◆みなと保健所における HIV と梅毒の検査体制を強化し、即日検査を実施します。 | 予算額 | ①2億2,879万1千円 ②1,919万3千円 |
| | | 区分 | <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 臨時(<input type="checkbox"/> 新規・ <input type="checkbox"/> 継続) <input checked="" type="checkbox"/> レベルアップ |

| | | | |
|-----------|---|---|--|
| 概要 | <p>病気の早期発見につながる検診や検査は、命と健康を守るために重要です。区が港区医師会と連携して実施している「肺がん検診」と「HIV・梅毒検査」について、より早期の病気発見につながるよう取組を強化します。</p> | | |
| | 1 | <p style="text-align: center;">AI 画像読影システムによる肺がん検診の精度向上</p> <p>肺がん検診は、二重読影(異なる医師のダブルチェック)が必要な検診です。肺がんの見逃し防止に向けて、AI画像読影システムを試行的に導入します。</p> <p>■実施手法 医師会において二重読影を行う際に、AI画像読影システムによる分析を行い、その結果も踏まえて読影医が精密検査の必要性の有無を判断します。</p> <p>■開始時期 令和5年7月 ※試行実施の状況を受け、その後の本格導入を検討します。</p> <p style="text-align: right;">※参考 区内における肺がん検診受診者数(令和3年度) 28,076 人</p> | |
| | 2 | <p style="text-align: center;">HIV と梅毒の即日検査の実施</p> <p>コロナ禍で梅毒は全国的に急増しており、令和4年7月時点の感染者数は、令和3年の1.7倍の6,106人となっています。令和5年はさらに増加し、1万人を超える可能性も懸念されています。性感染症は無症状で経過することも多いため、予防に関する普及啓発を推進するとともに、早期の発見と治療に向けて HIV と梅毒の即日検査を実施します。</p> <p>■実施内容 みなと保健所で実施する HIV と梅毒の検査体制を強化し、これまで検査から結果判明まで要していた時間を、2週間から約1時間後に短縮します。これにより、検査できる件数も大幅に増加します。</p> <p>■検査人数(想定) 年間約 1,200 人 ※現在の検査数は年間約 400 人 ■開始時期 令和5年4月 ■検査実施場所 みなと保健所</p> <p>また、区内の医療機関で実施している性感染症(HIV・梅毒・クラミジア・淋菌検査)の検査について医療機関や検査数を拡大し、性感染症の早期発見を促進します。</p> <p style="text-align: center;">【検査機関(想定)】24 機関→30 機関 【検査人数】年間約 600 人→年間約 700 人</p> | |

| | | | |
|---|----------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 問合せ  | ①肺がん検診について | 課長 健康推進課 二宮 ☎ 03-3455-4427(直通) | 係長 健康推進課 健診事業担当 船岡 ☎ 03-6400-0083 |
| | ② HIV・梅毒検査について | 課長 保健予防課 太田 ☎ 03-3455-4426(直通) | 係長 保健予防課 感染症対策担当 田辺 ☎ 03-6400-0081 |